



発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



五つのK（感動・感謝・希望・絆・継承）は志賀理事長が福祉文化より習得した概念である。このキーワードの中から日頃の支援で感じる事、利用者に接して思う事をテーマとして取り上げる。

利用者として過ごす日々への感謝の気持ち

悠炉里 施設長 志賀常盤

施設そばの自宅で生まれ生活してきた頃を振り返ると、一緒に遊び夕食を摂り、談話室でテレビを見ながら就寝の点呼までを過ごし自宅に帰る。そんな幼少期の生活を経て施設職員となり二十年が経つ。



平成15年グループホーム稲垣荘入居祝いの様子

コミュニケーションが求められる今

人と関わる機会が減った、会話が減った、マスクで相手の表情が分かりづらくなった等いろいろな問題が出てきた昨今、皆さんはどのようなことを心掛けてコミュニケーションを取っていますか？

福祉の仕事をしている私にとって、利用者とのコミュニケーションはもちろんのこと、職員同士のコミュニケーション能力を持つことで、周囲との信頼関係を築くことができ、協力も得やすく、ミスも起きにくくなると思います。まずは自分から積極的にコミュニケーションを取るようにする。相手から引き出そうとするより自分から情報提供する。相手の話を興味・関心を持って聞く、という事を意識するのをはじめに行動に移していきたいものです。ぜひ皆さんも心掛けてみてください。

悠炉里 指導主事 大場康生

小麦とロシアの国

理事長 志賀俊紀

ウクライナはロシアの侵攻で、厳しい局面を迎えた。わが国にとって、対岸の火事ではない。中学の社会科でウクライナは西欧の穀倉地帯と習った。肥沃な土地に小麦が大量に生産され、黒海の港から世界に船積みされた。

そして、大学一年の時映画「ヒマワリ」を観た。戦争で離別した大人の映画で、戦争の悲惨さを訴えたヒマワリの花が印象的だった。訪問したことはないが、卒論の実験が「小麦」でコバルト60照射による突然変異の品種改良であった。逸話になるが、旧ソビエトスターリン時代に、小麦が不作で沢山の飢餓に苦しみ、犠牲者が出た。農学者レイセンコが農業と思想に絡めた事件である。

ウクライナ国民は、過去の歴史と今回のロシアの行為を重ねているに違いない。しかも今回は、世界の食糧問題に地球規模の影響を与えている。アフリカは飢えと飢餓が拡大している。わが国の農産物の自給率はこれほどよいかと不安になる。戦争は、食料確保とエネルギー確保の戦いが主因になることが多い。

昨年四月よりグループホーム（以下：GH）悠炉里で生活を始められ、日中は、ワークネットやはたを利用されている池田香菜さんのお母さんにご意見とご要望を頂きました。

●子供の頃の香菜さんはどうい子さんでしたか。

一人姉妹の二番目で、妹とは年子という事もあってなのか、とてもかまってほしいという気持ちが強い子でした。小さい時は、お店で寝転がって私の気を引くこともありました。●GHで共同生活を始められて成長を感じたことはありますか。

一掃省した時に今まで親任せだった洗濯を、自分でする！と洗濯し始めた時は驚き、成長を感じました。家にいる時は引きこもり状態でしたが、GHでは自分で何でもしなないといかないので良かったです。

●施設に対して要望はありませんか。一広報誌や電話で、本人の様子や情報を知りたいです。コロナが落ち着いたら、親子旅行等で、香菜がまだ行った事のないハウステンボスに行けたら、と思います。

最近、やる気を持って被服の仕事を頑張り、GHでは、食事の準備や片づけを進んで手伝ってくれる香菜さん、お母さんと一緒に早くハウステンボスに行けたらいいですね。

特集

安心安全な食事提供



調理の様子

食品衛生法の一部改正による衛生管理の制度化が暫定期間を終え令和三年六月一日よりHACCP(ハサップ)による衛生管理が完全施行されました。ハサップとは、調理工程を正確に意識して管理する手法です。ハサップシステムとはhazard analysis(HA・危害分析)とcritical control point(CCP・重要管理点)のそれぞれの単語の頭文字を取った略称で、危害分析重要管理点方式と訳されています。ハサップシステムは危害の発生を予防するシステムであり、食品の納品から最終の配膳を行うまでのすべての過程において危害分析を行うとともに、危害発生を阻止する上で極めて重要な工程を特定した全行程の管理状況を重点的に管理することにより、工程全般を通して食中毒などによる危害の発生を予防し、食品の安全確保を図るものです。

ほかにわ共和国の動き

9月中旬 理事会
10月9日 運動会

※中止・延期になる場合があります。

施設の給食は出来立て、作り立てで健康的なメニュー、利用者の豊かな食生活を実現するうえで大きな役割を担っています。しかも、限られた設備と人員での調理・提供には限界があると思います、今回「見える化」を実現するため、ハサップの理念を導入した衛生管理の手引きを作成し、実施して一年が経過し、検証を行いました。

毎日の調理・食事提供時に記録表に掲載・記録する項目はメニューに対しての材料・納入業者を記録し、食材保存方法についての経緯を、詳細に検証します。

例えば、処理・加工・調理・盛り付け・検査配膳の項目に対しては、誰が担当し何時に実施したか記録します。また、危害要因の中で食材に入ったビニール片・毛髪の混入が最も多く危害要因発生についての検討を実施し、改善に取り組み、ビニール片の混入については、専用のカッターを導入し、これにより混入は無くなりました。さらに、毛髪の混入については通常着用する帽子の中にネット帽を着用し再発防止に努めていきます。

月に一度はハサップによる危害要因分析を実施し、その結果に基づいて工程の不具合を、どのような対策を講じればより安全な食事を提供することが出来るかという重要管理点を定めています。

令和3年度 決算報告

【社会福祉法人ほかにわ共和国】



【貸借対照表の要旨】

科目	金額(千円)
資産の部	
流動資産	625,805
固定資産	688,341
(基本財産)	506,166
(その他の固定資産)	182,175
資産の部合計	1,314,146
負債の部	
流動負債	52,024
固定負債	76,222
負債の部合計	128,246
純資産の部	
基本金	5,559
国庫補助金等特別積立金	126,246
その他の積立金	127,500
次期繰越活動増減差額	926,595
純資産の部合計	1,185,900
負債及び純資産の部合計	1,314,146

【事業活動計算書の要旨】

科目	金額(千円)
サービス活動収益	539,030
サービス活動費用	516,233
サービス活動増減差額	22,797
サービス活動外収益	5,821
サービス活動外費用	8,894
サービス活動外増減差額	△ 3,073
経常増減差額	19,724
特別収益	118
特別費用	32
特別増減差額	86
当期活動増減差額	19,810
前期繰越活動増減差額	899,785
当期末繰越活動増減差額	919,595
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	7,000
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	926,595

【資金収支計算書の要旨】

科目	金額(千円)
事業活動収入	544,776
事業活動支出	497,416
事業活動資金収支差額	47,360
施設整備等収入	0
施設整備等支出	36,099
施設整備等資金収支差額	△ 36,099
その他の活動収入	7,000
その他の活動支出	32
その他の活動資金収支差額	6,968
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	18,229
前期末支払資金残高	585,697
当期末支払資金残高	603,926

これを連続的に監視することにより食事の安全を確保するようにしています。

令和三年度の分析報告では開始当初は記入漏れもあり80%台の記録項目もありましたが、その月をきつかけに厨房職員の意識も高まり総合達成率85%達成できれば良いというところを90%以上達成することが出ています。食事は皆さんにとつての楽しみでもある為、安全な食を提供できるように今後も継続して取り組んでいきます。

(栄養士 高橋亮子)

報告会に参加して認識を新たにすることは、チームワークが良い。問題解決型から課題達成型への思考回路に前進したようだ。目標達成の高水準は喜ばしい。継続は力なりで頑張つてほしいものだ。

売りたいか。なう@



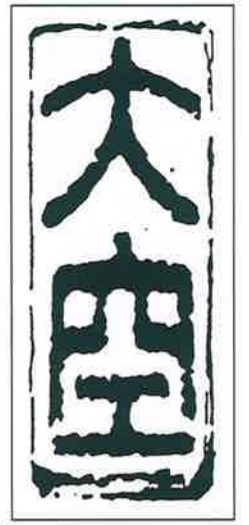
大人気の「カエルのがま口」に、新しい仲間が誕生！チャームポイントは、さおり織りでできたカラフルなお目目。あとは、従来のものより太くなった後ろ足です。カエルを既にお持ちの方も、必見ですよ。
(デイ雲柿の木)

マイブーム マイコレクション

私のマイブーム・マイコレクションは、鉄道や観光地を舞台にした「トラベルミステリー」の第一人者で知られる推理小説作家の西村京太郎さん(本名・矢島喜八郎)です。今年三月三日に九十一歳で亡くなりました。とても残念です。時間があれば、図書館や書店で見つけては読みふけています。まだまだ、読んでいないシリーズ物がたくさんあるのでこれから愛読していきます。皆様も良かったら一度手に取って読んでみては。長崎の話もあります。



デイ雲 吉田久子



お腹いっぱい
大満足!

梅雨前の晴天の六月三日、八雲寮とデイ雲合
同で収穫祭を行いました。今年収穫したタマネ
ギやジャガイモを使ったカレーライスやコロ
ックなどに加え、冷やし中華、枇杷が振る舞わ
れました。中でもコロックは揚げたてというこ
ともあり大人気！カレーにトッピングして食
べている方も多く、あつという間になくなり、
まだ食べたいという声が多数聞かれました。

その他にも「美味しか〜」、「次はカレーを食
べよう！」といった声が聞こえ、皆さん食事を
楽しませていました。ステージイベントでは、
恒例のタマネギとジャガイモを指定された重
さだけ箱に入れる「重さ当てゲーム」、制限時
間内にタマネギの皮を剥く「タマネギ皮むきゲ
ーム」がありました。重さ当てゲームでは、指
定の重さぴったりに入れられたチームがおり、
会場では歓声が上がリ、例年になく盛り上がり
を見せていました！



障害者支援施設 八雲寮広報部

今後の行事

7月
24日 小G活動

8月
一時帰省(予定)

コロナ禍になり三年が経ちますが、まだ前と同
じように実施することは厳しい状態です。行事は
利用者さんにとって楽しみの一つであり、工夫次
第でより楽しめるようになると思います。これか
ら職員が知恵を出し合って頑張りたいと思ひ
ます。

今日のご飯は何か？



今年もコロナ禍のため楽しみにしていた
帰省が出来ず、ゴールデンウィークを楽
しんで頂ける催し物の一つとして、普段の
給食で食べることがない握り寿司バイキ
ングを行いました。板前は草野調理員！海
老・タコ・イクラ・鯛・ハマチ・穴子・

マグロ・玉子のネタを目の前で握ってもらいました。その中で好
きなネタを4貫選んでお皿へ。握り寿司だ
けでなく、稲荷寿司と巻き寿司も頂きました。
美味しそうに頬張る利用者の方々の笑
顔は天下一品でした♪ (高橋亮子)



重さ当てゲームの様子(上の写真)
タマネギの皮むきゲーム
の様子(下の写真)

梅雨に入り、畑の野菜もすくすく育
ち、キュウリやミニトマトは毎日収穫
できるほどです。ミニトマトは一人一
鉢、それぞれ名前を付けて育ててきま
した。帰荘後、洗濯物を取り込む時に
赤くなったトマトは洗ってそのままお
口へ。キュウリは丸かじりしました。
宮崎和人さんは「自分で植えたミニト
マトは美味しい」と笑顔いっぱいです。
食はみんなを笑顔
にしてくれます。夏
には枝豆が収穫でき
る予定です。ビール
と枝豆…またみんな
の楽しみが増えそう
です。(中島可奈)



new face ~職員紹介~



総務主事 福田 亮 看護師 瀬戸島 さち江

千代垣荘の日常 畑での「コマ」

ここ三年間、コロナにより様々な動きに
規制がかけられてきました。色んなメイ
アでは、屋外で距離を保った状態であれば
マスクはしなくて良い、海外からの旅行者
に対しての入国の許可が下り始めたりと、
規制緩和の兆しが見られ始めています。
八雲寮でも少しずつではありますが、寮
外での活動の計画を立て始めています。そ
の先駆けの行事として、キャンプを取り上
げました。年々、身体的に参加者が減って
いる状態ではありますが、夏の行事として
は楽しみの一つでもあります。また、口之
津町で行われる花火大会へ夜に出掛ける
計画もあります。
今後、コロナに関する規制もどんどん緩
和されることと思います。利用者の方々や
家族の方々が、自由に面会や帰省が早く行
えるように願っています。我々職員も、気
兼ねなく旅行出来る日が早く来ないか
と願うばかりです。(中村要平)

がんばらば宣言

今回ご紹介するのは・・・？

笑顔が素敵な
山本美樹男さん

休日は
バスや電車
の絵を描い
ています。



入所日 平成2年7月1日

はなと虹

7月号 No.206



長崎ペンギン水族館見学 三年ぶりの日帰り旅行

六月十六日、長崎ペンギン水族館へ日帰り旅行に出かけました。今年一月に実施予定の行事でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のために延期していたもので利用者の皆さんもとても楽しみにされていました。通常の日帰り旅行の実施は実に三年振りです。



じめいろいろな生物たちをゆつくりと見学できました。

久しぶりの外出に帰りのバス内では少し疲れた様子も伺えましたが、何より久しぶりの日帰り旅行が出来て大満足の様子でした。

(小山泰彦)



カレー作りに挑戦!

放課後等デイの子どもたちがデイ雲や八雲寮で収穫したじゃがいも・玉ネギを使いカレーライス作りに挑戦しました。エプロンや帽子を装着し、全員がわれ先に皮むきに。切り込みや煮込み、盛り付けや配膳まで皆で協力しておこないました。自分たちで調理し盛り付けたカレーライスとサラダに、牛乳を混ぜたデザートとヤクルトを加えると「デザートも、ヤクルトもあると?」と大喜び。準備が出来たら「いただきま〜す」。いつもはちょっと苦手の野菜やサラダも頑張っぺろり!!みんなで食べると美味しさも増し「おかわり〜」の声も。また機会を作って挑戦しましょう。「ごちそうさまでした」のあと、お片付けまできちんとできました。(指導主任 山本智恵美)



カレー作りに挑戦した様子。エプロンや帽子を装着し、全員がわれ先に皮むきに。切り込みや煮込み、盛り付けや配膳まで皆で協力しておこないました。自分たちで調理し盛り付けたカレーライスとサラダに、牛乳を混ぜたデザートとヤクルトを加えると「デザートも、ヤクルトもあると?」と大喜び。準備が出来たら「いただきま〜す」。いつもはちょっと苦手の野菜やサラダも頑張っぺろり!!みんなで食べると美味しさも増し「おかわり〜」の声も。また機会を作って挑戦しましょう。「ごちそうさまでした」のあと、お片付けまできちんとできました。(指導主任 山本智恵美)

短冊に願いをこめて...

七夕に向けて創作活動時に折り紙で飾りをたくさん作り、短冊にそれぞれの願い事を書き笹竹に飾りつけました。七夕の日当日は、織姫と彦星が年に一度7月7日の日に会う話など、七夕に由来の紙芝居を職員で読み聞かせをしました。



おやつにみつ豆フロートを作り、みつ豆アイスクリームやあずきをトッピングして、とても涼しげに仕上がりました。利用者さんが短冊にこめた願い事もきっとかなうことでしょう。(光長まゆみ)

夏に向けて デイ雲 花・野菜班

こんにちは、デイ雲花野菜班です。私たちは暑い日もデイ雲に隣接している畑を利用しては作物を作っています。今は夏に向けた作物づくりに取り組み、『オクラ』や『なすび』そしてみなさんの大好きな『すいか』と『メロン』に挑戦しています。スイカやメロンは利用者さんのおやつで提供していきたいと思います。今後の成長段階などはほかにわのブログでも紹介したいと思いますのでそちらでの確認もよろしくをお願いします。(高松 豊)



五月から生活支援員として勤務開始されました田栗ひろ子さんです。

利用者様の笑顔や元気な挨拶などとても励みになります。信頼してもらええる支援を目指して頑張ります。



六年ぶりにデイ雲に配属となり、生活介護はその当時から利用されている方が殆どでしたが、年齢層が高くなった分、介護度がより重度化してしまっています。放課後等デイサービスについては、当時から利用をされていた方は一名のみで、その他は新規の方々と、四月初旬は名前と顔が一致せず戸惑うことが多かったのですが、三ヶ月を過ぎ、やつと日課の流れや業務が理解できてきました。

デイ雲の課題として、生活介護の利用者の方については、重度高齢化が進み、軽度の方との日課・活動の見直しが必要不可欠と感じております。また、放課後デイサービスにおいては、新規利用者の獲得をし、選ばれる施設運営、魅力ある放課後等デイになるよう、邁進したいと考えております。

総務主事 中村久人

雲と虹

行事予定 8・9月

- ・小グループ活動
- ・手作り昼食
- ・上映会

※状況により延期・中止になる場合があります。

悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌

7月号

悠炉里の行事

- ・権田清掃作業
- ・各ホーム活動
- ・七夕祭り

ホーム活動

朋雲荘&稲垣荘

朋雲荘では、六月の誕生会として、加津佐町内にある、お食事処「炬燵」で「焼天海」でメンバー二人を祝いました。運よくこの日は晴天に恵まれた為、散歩がてらみんなでホームを出発しました。歩きながらみんなで何を食べるか盛り上がりましたが、到着するとメニューの多さに目移りし：時間がかかりましたが、それでも一番食べたいものが注文できました！

稲垣荘では、夏バテにならないよう、ホーム内でホットプレートを使用して焼肉をしました。肉・野菜は元山商店へ利用者と一緒に買いに行き、食べたいものをそれぞれ選びました。帰って、自分たちで食べやすい大きさにカット。盛りつけをして、一人ひとり自分好みに焼きました。肉を焦がしてしまい、残念そうな顔をしている利用者も。食後は全員で片付けまで行い、最後はデザートのアイスまで：みんな大満足の焼き肉パーティでした。



「ティーとなりました。毎月このような活動を行って、利用者がこのホーム、このメンバーで良かったと感じてもらえるように続けていきたいと思えます。(池永裕介)」



心遣いありがとう

『毎日の夕食後、乾燥機にかけた後の食器の片付けは私たちの仕事です！誰もやらない仕事を続けるのは簡単なことではありませんが、毎日私たちの為に頑張ってくれている職員の為に少しでもお手伝いをしたいと思っています。』

いつの間にか自然と手伝ってくれるようになった、阿比留さんと金松さん。とても助かります！ありがとうございます！

「ゆるりと あいさつ」
Iターンで南島原市に来て十五年。引越してきて一番感心したのが町内ですれ違う小学生がほぼ全員挨拶をしてくることに驚きました。都会では知らない人と話をしてはいけなさと教えられ、登下校中は名札もつけられない様に指導されていきました。初めは知り合いのお子さんかと思いきや、妻に聞くと学校で教えられているとの事。大きな声であいさつしている姿を見るととても清々しく気持ち良くなります。



食事が運ばれてくると、みんなで談笑しながら和気あいあいとした時間を過ごしました。職員の知らない、普段聞けない話も飛び出し(！)とても有意義な時間になりました。

焼肉が仲を保つ!?



望月さんの朝は大忙し！毎朝、花の水やりから始まります。近所の方から頂いた向日葵の苗を移植すると、すくすくと育てて大きくなりました♡
お花が咲くのが楽しみです。(荒木佳奈)

花とふれあう



みんなで祝う 誕生日

(田中誠)

これから暑い時期が続くので体調に気を付けながら仕事にも励んで欲しいです。誕生日はみんなで祝い、利用者も職員ももっと深く関わり合えたら、と思います。

★スポットライト

就労継続支援A型



コミュニティほかにわでまだまだ頑張っている、酒井久行さん。

休日は近くの波止場で、趣味の魚釣りを楽しみ、釣った魚は持ち帰り自分で捌き、みそ汁やフライにして、ホームのみんなに振舞っています。

いつも頑張りすぎる所があるので、自分を労わりながら、仕事と趣味の両立が出来るようにぼちぼち頑張っていきましょう！
(原川厚美)



おはようございます

今回学んだ事を現場で実際に役立てていきたいと思えます。(竹市香織)



先日利用者からグループホームに入ってくるときに挨拶をしない職員がいると報告され、とても悲しくなりました。いつも挨拶はするようにと指導支援している職員が出来ていないとは。直ぐに職員全員に注意し手本となる行動をとるように伝え、職員一同、初心に帰り気持ちを引き締め支援していきたいと思えます。

副主事 生川順一

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 7月号

夏本番を前に・・・

紙加工班が毎年取り組んで
いる地元特産品そうめんの仕
事はいつもと違って受注に追
われています。

麺を袋に入れ、箱を組み立
てたりと、いくつもの製品を
加工しているシーンはまさに
加工所なみです。複数の工程
を細分化して、多くの利用者
が取り組めるよう手作りの道
具を駆使しながら作業支援に
も熱が入ります。

同じ作業が長く続けられる
環境はそう毎回は作れません



やはた教育通信

やはた共有大学校4年生と言えば、就労移行
支援の2年目。いよいよ就職を目指して職場実
習も本気で取り組んでいく時期となりました。

現在、自らが希望する介護職の仕事へと目標
を設定し、実習を再開した坂木優太さん。

コロナ感染症の影響により、思うように職場
実習ができていない状況の中、法人が運営する
事業所の協力を得て、なんとか体験までは漕ぎ
着けました。しかし初期の目標の段階までには
至っていません。これから、ご本人やご家族が希
望する仕事に就けるよう
そして家族がこれからも
仲良く一緒に暮らせるよ
うにと、外部の介護事業
所での実習を踏まえてし
っかりと支援していきな
いと思います。

(総務主事 白倉和裕)



うまくなるかな・・・

みなさん、今年も南島原の
おいしいそうめんを
たくさん食べて暑い
夏ののりきつてく
ださいね。

(古賀清美)



「作業をがんばってみんな
で旅行に行きたい」「外出活
動をしたい」「レクリエーシ
ョンを楽しみたい」「みんな
で楽しく食事をしたい」な
どなど、本来は作業をする
ために通うことが主な目的
ではあるものの、周りと同じ
ように職場の方とのコミュニ

(林田まゆみ)



ワークネットでの楽しみは？

毎日作業に明け暮れて
いるみなさんに、ちょ
つと質問をしてみました。

「ワークネットに通ってき
て仕事以外での楽しみは何で
すか？」「ワークネットでど
んなことを楽しみたいです
か？」の問いかけにみなさん
いろいろな意見を寄せてくれ
ました。

ケージョンを大切に思っ
ていることが改めてよく
わかりました。

楽しみがあるから仕事
を頑張れる、仕事を頑張
っているからそれ以外で
の楽しみも大切にしたい
のは自分だけじゃなかつ
たんだとも思いました。

今年も少しだけコロナ
も治まりつつ、その付き
合い方もわかってきたの
で、みんなが楽しく通っ
てくれるような催しを精
一杯企画していきたいと
思います。

職員

New フェイス紹介

笑顔で明るい
職場にしてい
きたいです



佐藤光子さん

ぼちぼち
がんばります



酒井つゆ子さん

ワークネットやはた この人

今回は 宮川あゆみ さんです



Q) 趣味はなんですか？

「マンガを読むことです」

Q) 休日は何をしていますか？

「テレビ（特にドラマとバラエティ）を見て
ます」

Q) ワークネットで一番楽しい時間は？

「休憩時間にまったり&おしゃべりして
る時です」

●所属する被服班では、みんなが仕上げた製品
の検品や製品のたたみ作業に取り組み、みん
なのリーダー的存在です。

宮川さんこれからもよろしくお願いします。

散歩道

先日、自治会の除草作業に参加し
ました。7月は各自治会の除草作業
が真っ盛りの時期ではないでしよ
うか。地域住民とコミュニケーション
を取るよい機会になり、田舎とい
えども平日にコミュニケーション
を取れる範囲は隣近所など限られ、
働きに出ているならば、地域住民に会わ
ないのが普通です。清掃作業中は
「○○さん？」「仕事は何してる
の？」など声をかけやすい雰囲気も
あります。

(指導主事 松尾浩道)

しんぼんしんぼん

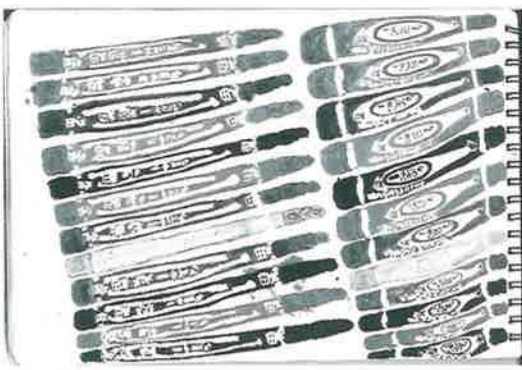
桜切るばか 梅きらぬばか

〜共生社会に必要な事〜

デイ雲柿の木 所長 原口由紀子

樹木の剪定には、其々木の特性に従って必要な対処の仕

方があるという戒めの諺である「桜切るばか 梅きらぬばか」(監督・脚本・和島「か」。転じて、人との関わりで D V D 化を待つて視聴するも、相手の性格や特徴を理解しようとするのが大切



No Life No Art

「どんなに怖い思いをしたか」と、わが子の恐怖を代弁し、馬の怯えを馬主が推し量り訴え、施設があると地価が下がり、治安が悪化する」という考えの住民もいます。見知らぬ大人の行動に恐怖



デイ雲柿の木で生産された、パン、焼き菓子、農作物、黒糖、さおり織りを使った手芸品、木工品等が商品棚に並びます。地域のイベントが中止となり2年以上、一般にこれらの商品を手にもたらさう機会が、激減しました。そこで、数年前から計画してい

開店！柿の木バザー

た柿の木バザーを開催。感染防止対策必須で、利用者や職員だけのバザーでしたが、地域の方や通りがかりの方にも買っていただきました。念願叶って、大満足の大成功。今後は徐々に規模を拡大し、地域の恒例行事になりたいです。(福田恵理)



グループホームデイ雲柿の木共益費 徴収のお知らせ
令和4年9月より月額2,000円の共益費を入居者の皆様より徴収致します。



白木陸斗くん

6月1日より柿の木仲間になりました！
これからよろしくね♪



(浮田真帆)

「見えにくい特権を可視化する」(長崎新聞 2022.4.5 発行記事)の提唱は、「自動的に受ける恩恵や優位性を『特権』とし、マジョリティー性を有しているが故に付与された特権に無自覚でいると、マインオリティーに対して抑圧的な言動として現れる。真の意図でインクルーシブル社会を目指すなら、たまたま持つて生まれた属性によって恩恵を受けられている現状に気付き、差別に値する不公正に加担しな

五月から生活介護の利用開始した坂本一枝さんのリハビリは、杖歩行・またぎ動作の安定性獲得を目標に、歩行・またぎ動作に必要な大腿四頭筋、腸腰筋の筋力訓練を中心に



給食関係職員で、

「フライパンでできる本格ピザ作り教室」に行ってきました。

ピザと聞くと、作るのが大変なイメージがありますが、実際に作ってみると、とても簡単で、給食に取り入れることができる！と感じました。私は、早速家で子供たちと作ってみました。家族にも大好評。美味しいものを食べ、幸せな気持ちになりました。私たちは、「美味しかったよ」の一言で、これからも頑張ろうと前向きになれる。(城代春美)



絵：石川智広さん 「レモン」

Let's 公民館講座



8月の行事

- 4・23日 市民プール※
- 9日 河川アダプト
- 11日 誕生会
- 13日 弁当の日
- 24日 児童外出

※印は参加費あり

行事は中止となる場合があります

言の葉

私の叔母は障害者でした。

叔母は、中度の知的障害者で、施設に入所しており、お盆や正月に帰省し、家にいる時は、じつと居間に座ってテレビを見たり、塗り絵をしたりしていました。近所の方たちと交流はなかったのですが、問題が起きることもありませんでした。それでも、家族の都合で施設に入所していました。

行っています。始めた頃は、とても緊張されていました。現在週2介のリハビリを楽しみにさ

今思うことは、家族が自宅で障害者を見るということは、障害の程度に関わらず大変だということ。家族は自分の時間を割くなどして、自分の時間をその人に向けています。それは、自分の体験上、仕事上、知っています。しかし、体験や経験がない方たちが、その事をどう知ることが出来るでしょうか。想像はしないのでしょうか。「地域で暮らす」ことへの理解を深める。大きな目標ができたと実感しています。

指導主任 福田恵理

郷土の偉人～三宅良斎とその一族 ②

口之津歴史民俗資料館長 松本 昇

2. 江戸時代の蘭方医とは

良斎は蘭方医で専門は外科であったが、外科だけでなく、医学全般に関心をもっていた。正確に言えば、鉱物や動植物など幅広い分野に関心を抱いていたのである。

1) たとえば、鉱石

『文久航海記』では、良斎の鉱物への好奇心について、次のように記されている。「弘化2年(1845)には良斎は堀田侯の別封(飛び地)、出羽の国(岩手県)柏倉の陣屋に赴任させられた。良斎にとってはあまり有難いことではなかったかもしれない。しかし良斎この地で、医業の余暇に鉱物を弄(いじ)る趣味を覚えたのである。金銀鉱の生産、硫黄、硼砂(ホウ酸塩鉱物の一種)等々良斎にとっては何れも好奇心の対象となった。」

文久元年(1861)、シーボルトが再び来日した。良斎は柏倉に赴任した頃から集めていた鉱物の数百種の標本をおよそ30の箱に分類して携えて、江戸は赤羽根の接遇所(外国人のための宿舎兼応接所)に行き質問した。シーボルトは、自分は鉱物の専門家ではないから本国に持ち帰ったうえで詳細に調査しようと言ったので、良斎は喜んで彼に託した。ところが、後になっても返してくれず、良斎が外国奉行(江戸時代末期の職名で、外交を担当)の手を経てたびたび催促しても返してくれなかった。ついに文久3年に復一(またいち。後の、秀)のフランス行きが決まった時、良斎は復一にシーボルトへの直談判を言いつけた。復一は運よく元治元年(1864)にマルセーユでシーボルトに会い、調査のできたものだけ送るとの言質をとって帰朝した。

しかし、送り返されてきたものは、価値の少ない、2、3箱にすぎなかった。

2) 6連発銃の弾

良斎が作ったものは、医療用の薬だけではなかった。『文久航海記』によれば、6連発銃の弾まで作ったのである。つまり、雷管(わずかな熱や衝撃でも発火する火薬を容器に充填したもの)としては、「銅の薄延べ板を三分四方に切り、その四隅を丸く切り去り、それを鋼鉄の型の上に載せ、火門(銃の点火する口)の太さに相当する金棒を槌(つち)で打ちくぼめて管形」にした。

当時は西洋の薬などはなかなか手に入らなかった。時には、それに代わるものを身近な所から探さねばならなかった。結果として、良斎は動物や植物、鉱物などへの関心が強くなっていったのである。別の見方をすれば、あらゆる分野を子供のような好奇心をもって極めようとする良斎にとって、蘭方とは、西洋の自然科学の中で発達した実証主義的な医学であり、科学者の代表が蘭方医だった。(つづく)

児童施設を開設してから11年経過した昭和48年までに他界したのは3名であったが、梅雨の晴れ間の同年7月1日(日)午前9時ごろ、不慮の事故を教訓に「法人での合同法要」を実施することになった。仏式の法要を営んだのは、神主であった初代園長志賀幸村(1899-1971)の決断である。その後、法人が分割されてからも双方の法人では七月一日を供養の日と定めた。ほかにわになってから27名の他界である。利用者も長寿になり、70歳を超える時代になった。知的障害者の平均寿命も確実に伸びてきたが、ダウン症を含めた予後対策が求められている。それは、葬儀の有り方など地域共生という背景を有しながらの課題である。

物故者法要しめやかに挙

ラングドン・ダウン(L・D)の自叙伝を翻訳した安藤忠は、ダウン症の若者の輝く姿を写真集を編集し2015年に刊行した。タイトルがどこかで聞いたことのある「に」である。糸賀一雄先生の『この子を世の光に』という願いを少しだけ意識していると、安藤は胸の内を明かしている。それは、恩師と仰ぐ高松が、糸賀の弟子と自認していたことへの尊敬の配慮(恩返し)である。安藤は医師であり、「子供の城」を継承したダウン症研究者の一人であるが、その活動は地道だ。

筆者が安藤忠に関心を持ったのは、安藤が自伝を出す前の翻訳の論文の背景に注目したのである。L・Dに関する自伝と逸話の少ない研究者と言われているようだ。そしてL・Dはサーの称号を持たない医師である。英国では称号は重要な人格を持つのである。また、夭折した娘と事故死の長男、次男の息子はダウン症である。しかし、私立の事業推進の上では成功した研究者で実業家である。そして、L・Dの研究を不動にしたのは、レトソミアン講演と石板写真による実証である。



ダウン症と言え、写真がいく事例が多い。安藤は、百人のダウン症の輝いて生きている青年を紹介している。ほかにわのジャカラнда(鳳凰木) 外庭のジャカラндаが薄紫で咲いている。まだ幼木十個足らずの花数であるが心和む。和名は鳳凰木と言うが、世界の街路樹に多用されている。一方で、世界の三大花木と称され、雲仙小浜温泉の街路樹は、その昔、地元の外交官がナイロビから持ち帰ったと伝え聞く。ほかにわ共和国に栽培されたのは、令和になってからだ。この花(鳳凰木)との出会いは沖縄、那覇のデイゴの街路樹をこの花木にした頃である。そして、シドニーのパラ五輪で、ジャカラндаの紫と出会った。二十二年前のことである。正直言って、花弁ばかりの外国の紫より、日本の花木が緑と紫のバランスが美しい姿である。



ほかにわのジャカラнда(鳳凰木)

多摩ファミリーシンガーズ45周年記念

シンガーズがほかにわ共和国の「星屑のステージ」でチキチキバンバンを歌い踊ったのは、35年前の事である。その子供たちは、良いお姉さんになっている。多摩市の文化使節として活躍している。高山先生も



相も変わらずお元気で舞台を仕切っておられる。サウズも洗練された美しい響きは現在も健在だ。45年見事に継承された祈りの魂は、心に届き世界に届いている。50年に向かって乾杯。